

ひまわり

2016年
8月22日
No. 1177

生活協同組合 あいコープふくしま
郡山市安積町日出山1-110-1
Tel 024-956-0011 Fax 024-956-0055
フリーコール 0120-910-408

もくじ

- ① 原爆被爆者の訴えに学ぶ
- ② " "
- ③ " "
- ④ 生産者からのお便り、ローカル案内、測りて安心測って対外、岡部さんか語る②
- ⑤ 岡部さんが語る② 不昌島② レニジで"チン!トマトソースレシピ
- ⑥ 柳沼さん生ブルーベリーがゆり② 手作りではおぐロの中へ、せいたくて辛せ
- ⑦ 第30回総代会、発言と報告⑥
- ⑧ " "
- ⑨ ~⑫ ローカル商品のご案内、たぶんモカード、#4の注文すすめも
- ⑩ 安達議事交流会

ローカル商品のご案内（9月1回）はうしろのページからです ホームページ <http://icoop-fukushima.jp> CO・OP共済に関するお問合せは、フリーダイヤル 0120-212-107

原爆 被爆者の訴えに学ぶ

若い人にこんなむごい体験 ニ度とさせてはいけない！

▶▶▶▶▶ 86才の被爆者、切明日月さん ▶▶▶▶▶

満州事変から太平洋戦争へ 後戻りできない道を
国が突き進み、言いたいことも口にできない「不穏な
空気」の中 子供時代を過ごした切明さん。
いつかこの戦いに勝利できたら言いたい事を言える時が
来るに違いないと未来に希望を抱いていたはずです。

しかし 8月6日の原爆は、多くの夢も希望も一瞬
で奪いました。助かった切明さんでしたが、火傷で
顔が腫れ、すさまじい皮膚をぶら下げる、多くの同、
下級生を手当てし、看取り、火葬しました。

生き残った方が心に負た傷の深さと苦しみ
そして健康への不安は私の理解をはるかに超える
ものと思いますが、その困難を乗りこえ「若い人に
こんなむごい体験を二度とさせてはいけない」とマイクを
握る姿に心の震えが止まりませんでした。

戦争も原爆も人間の手がつくり出すもの。ならば人間の手で終わらせる
ことでもあります。平和な世界を未来につなぐためにも、親として子どもたちに
しっかり伝えたいと思います。

高校生たちの世界に向けた訴えにも心を打たれました。平和大使の
加藤さん頑張って来て下さい。（福島市）



この姿勢で1日1時間 訴え続ける
切明千枝子さん



原爆被爆者の方のお話を生で聞くのは
初めてでした。切明さんはすごくお元気そう
で、しっかりとした口調でお話をされている姿に
伝えねば! という熱意のようなものを
感じました。

このような話を日本国民として全員聞く
べきだと思いました。

（郡山市）

ティータイムで出していたピーチヨーグルトアイス
とてもなめらかで美味しいかったです。
メープルティーは温かくてハッコリしました。

原爆被爆者の訴えに学ぶ

アツアツ 小中学生の訴え アツアツ

ぼくはこのお話を一生忘れません

ぼくは、今回の切明さんのお話を聞いて、はじめて広島の原爆の被害の恐ろしさを詳しく知りました。ぼくが一番心に残ったのは、切明さんたちが七くなつた下級生の遺体を焼いたということです。焼いてるとき涙は出てこなかつたといいます。ぼくはそのとき切明さんたちはどんな気持ちだったのかと思いました。

そして、お母さんにそのことを聞いてみると「あまりの恐ろしさや悲しみに感覚がマヒしてしまい、遺体を焼くという作業を早く終わらせなければ」という気持ちか先だったのかな。」と言いました。

ぼくはこれを聞いて、切明さんたちの体験は、今のぼくには想像できない気持ちだと鬼いました。ぼくはこのお話を一生忘れません。

(郡山市)

小4)

痛さや怖さを想像できないくらい悲しかった

私は切明さんのお話を聞いて、原子爆弾の怖さは原発事故と全然ちがうと思いました。自分の皮をひきずりながら、にげてきた子の皮を先生が手でちぎったというお話を、痛さや怖さを想像することができます。悲しかったです。夏休みは読書感想文を書くのをやめて、このお話を聞いたことを作文に書くことにしました。

(須賀川市)

小4)

小4の娘にはまだ少し残酷すぎるかと迷ったのですが、本人が聞きたいと言うので参加させていただきました。苦い体験をお話していただく事が申し訳ないと思いつながら、貴重な一言一言を聞きもらすまいと、親子でじっと聞き入っていました。決して忘れません。お聞かせ下さった言葉を胸に刻んでいきたいと思います。

(須賀川市)

切明さんが下級生の方々の遺体を…
「語りつく」使命が私たちに

私は、被爆者の方々のお話を聞かせていただくのは今回が初めてでした。どれも心に響くお話をしたが、その中で特に心に残っているお話は、切明さんご自身が下級生の方々の遺体を焼いたという体験です。

そのお話を聞いている時、私は心が苦しくなりました。私たちなら焼かないと腐ってしまうという状況でも、人の体を自分の手で焼くことはできないと思います。しかし切明さんたちがこのような事を行わなければならぬほど、当時の状況は私たちには想像がつかぬほど大変なものだたることが伝わってきました。また、下級生を焼いている時、内臓が破裂し、「パチッ、パチッ」という音が聞こえたとみしゃっていました。その時切明さんはどのような気持ちで見守っていたのだろうと考えると胸が痛くなりました。

今回のお話を聞いて、今の私たちが平和な世の中で生きていたる歴史には、切明さんたちのような体験があったということを忘れてはならないと思います。私たちは2011年の福島第一原発の事故により、多くの被害を受けました。切明さんが最後におっしゃっていたように、広島や長崎の原爆投下や今回の事故はとてもらしい過去ですが、決して風化させてはならない事だと思います。

今の時代に生きているからには、この悲惨な出来事を後の時代の人々に「語りつく」という使命が私たちにはあると思います。その使命の一ひとつとして、私は今年の夏休みの課題として今回の話をまとめ、学校の友人たちにも読んで矢口てもらい、伝えていきたいと思います。

(郡山市)

中1)

原爆 被爆者の訴えに学ぶ



貴重な生の声、
胸にせまるものでした

実際に被爆を体験された切明さんのお話は、とても迫力があり、胸にせまるものでした。このように貴重な生の声を聞かせていただき、とても良かったです。また、語り継ぐことの大切さを学びました。

原発再稼働がほんとんどないと思っていますが、原発事故後の福島の悲惨さが全くわからていないというか、よく伝わっていないという事にはなるのでしょうか。

(三春町)

第18代 高校生平和大使 鶴崎かれんさん
(高校3年)

△に学び、連帯!
高校生平和大使激励!

ふくしま

22日



子供たちが国のために
働かされていた

原爆 被爆者切明さんの貴重な話を聞くことができました。成人を迎えたよい子供達があたり前のように国のために働かされていたこと、原爆時の悲惨な出来事。人間だけではなく、動物までひどい目にあわされてしまったことを知り、胸がしめつけられる辛い気持ちになりました。

今、自分や家族が普通に生活できている事に感謝して、優しさやいたわりの気持ちを忘れてはいこうと強く思いました。そして自分の子供にも、感謝して生きいくことを少しずつ伝えたいと改めて思うようになりました。

(郡山市)

(③)

Hiroshima
Nagasaki
Peace Messengers



広島の被爆者、切明さんのお話に胸が痛くなりました。

お話を最後に、皆さんで戦ってほしいと言ったことが深く印象に残りました。

()

「ビニールマルチ」 やめました

*生産者からのお便り

梅雨が明けたようだと気象庁の発表ですが、西日本では大雨が降って災害が多く発していますが、福島県では平年の7割から5割位の降雨量しかなく、畑は水分が不足して雨が降るのを待っている状態です。野菜の育ちも良くないし、種蒔きや苗の移植が計画通りにできないあります。私は畑の保湿と雑草防除を兼ねてビニールのマルチ栽培があるので、資源の無駄遣いになるのではないかと考え、今年からビニールマルチ栽培をしないことにしました。そのため労力が多くかかり、収量も少なくなるのですが、植物本来の生命力に任せてあります。

石井 希

ローカル品
000503

愛菜箱

905円(税別)

無農薬で育てる農作物
安全でおいしい！ 愛農会グレードの提供

✿ 8月1回お届け品 … いんげん 100g、トマト 300g、きゅうり 3本。
(注文64箱でした) 小松菜 1束、玉ねぎ 700g、ゴーヤ 1本。

✿ 8月2回予定品 … いんげん、トマト、きゅうり、小松菜、ナス、ジャガイモ

8月1回ローカル品・注文数 20ケタ以上

商品名	供給数量
ミニトマト ちびあま	284
地元のなす	209
スイートコーン(3本組)	189
ブルームきゅうり5本	156
グリーンアスパラ	156
地元の枝豆	143
ブルームきゅうり3本	134
夏人参(洗い)	110
中玉トマト ララフルティカ	100
満点！あおばちゃん6切	97
大玉トマト(重力トマト)	85
生芋糸こんにゃく	65
野菜セット「愛菜箱」	64
贈答発送地元の桃3kg箱早割	56
生芋板こんにゃく	41

贈答発送地元の桃2kg箱早割	36
徳島産野菜セット	34
未来につなぐ支援金	33
満点！あおばちゃん8切	31
いちごとまと	31
贈答発送地元の桃2kg箱早割	30
贈答発送地元の桃3kg箱早割	29
地元のジャガイモ(農薬不使用)	29
スイートコーン(5本組)	28
こだわりぽん酢	27
シャボン玉純石けん	25
ミルクコーヒー	25
生乳仕立て のむヨーグルト	25
とろさば水煮 3缶セット	23
キッチンスポンジ	23
満点！あおばちゃんノンスライス1.5斤	23
シャボン玉浴用	22

測りって安心・測りって対処

家庭菜園、もらいもの測定

181週

2016年

単位:ベクレル/kg

測定日	場所	品目	量目	結果 cs137/cs134	検出下限値 cs137/cs134	測定時間
7月26日	郡山市	きゅうり	810g	① F	3.61 3.25	3600S (1H)
"	郡山市 久留米	大葉	210g	26.9 8.19	9.52 7.52	7200S (2H)

「やっぱり「大葉」はセシウムを吸収してる

トマト作りのプロ、岡部さんが語る in 福島②

2才の娘は岡部さんのミニトマト「ちびあま」の大ファンです。その甘さと美味しさの裏には徹底した努力があったのですね。驚いたのはスーパーでよく見かける「JAS有機」の安全性の低さと、それに対して岡部さんが採用している安全農産物栽培規範GAP(GOOD AGRICULTURAL PRACTICE)は、世界標準の安全性の高い生産工程管理。ローカル版に載っている「ふくしまGAP」の意味が初めてわかりました。

私たちがあいコープを通して、とても品質の良い食材を頂いていることを再認識し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。調理実習で初めて「ララフルティカ」を食べました。ちびあまよりトマトらしい旨みがありながら、そのタロの通りフレティーで美味しいかったです。当日買って帰ると、娘も「おいしい！」と喜んでいました。

(福島市)

浪江町から原発事故により強制避難中の本宮市高木と、石神第1仮設30戸に

8月1回 愛菜箱の50% 28,95円
これまでの残額 27,427円
30,322円



トマト作りのプロ、岡部さんが語る in 福島②

岡部さんに弟子入りしたい!!

先日の岡部さんのお話はとても興味深く、魅力的で楽しかったです。季節を問わず手に入り、いつも身近な食材のトマトですが、こんなにも奥が深かったなんて…。トマトからあふれ出る岡部さんの世界、情熱…あという間に過ぎた時間でした。終わる頃には“岡部さんに弟子入りしたい”とまで思ってしまいました。

娘は今2才で、食事に関して試行錯誤していますが、トマトは大好きで毎日食べています。“美味しい♪”と言ってトマトをほおばる顔を岡部さんにも見てもらいたいなあと思いつながら、私も毎日食べています。これからもお世話をになります!!

(福島市)



7月11日
岡部さんが
語る
交流会



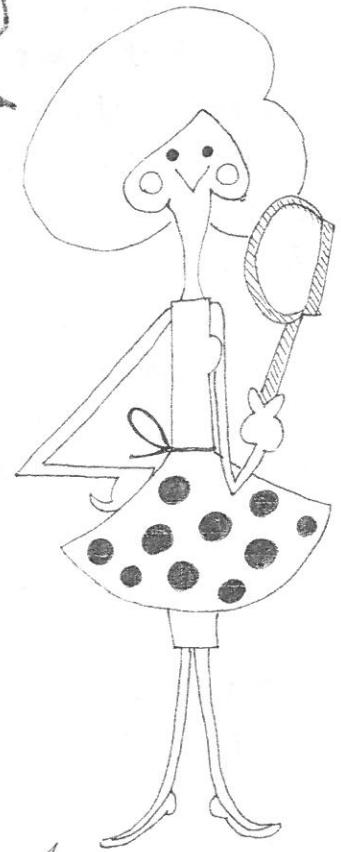
完熟トマト!!

レンジでチン!! するだけトマトリース

材料 (2~3人分)

・トマト	3~4個
・にんにくみじん切り	1片
・カニカマ ケチャップ	大さじ1~2
・パセリみじん切り	(あればOK)
・ハニオイルツナ缶	1缶
・オリーブオイル	大さじ1
・塩、こしょう	適量
・ブロッコリー	適量

オイル入りでもOK
その場合はオリーブ
オイルレタスのために。



作り方

① トマト(ざく切り)、ツナ缶(汁ごと)、にんにく、ケチャップ、オリーブオイル、パセリ、を耐熱容器に入れてレンジで5分(600W)

一度かきませてもう一度レンジで2分
塩、こしょうで味をととのえる。

② パスタをゆでる。
ゆで上がり2分前にブロッコリー投入! 一糸者にゆでる。

③ パスタとブロッコリーをお皿に盛り、レンジでチンしたトマトリースをかけて完成! お好みでパルメザンチーズをかける。

(福島市)

ツナを入れなくても充分おいしい!
トマトの水分たっぷりで、トマトスープとしてモモモモ
→スープにする時はケチャップは入れません
トマトチーズをのせるとボリューム増加

柳沼さん、生ブルーベリー狩り②

摘んではすぐ口の中へ
贅沢で幸せ♪

今回初めて須賀川のブルーベリー生産者、柳沼孝政さんの交流会に参加させていただきました。

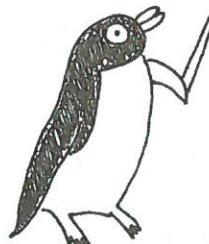
長沼は山林に囲まれ、信号機や車の通りも少なくて、自然豊かで静かな所でした。ブルーベリー畠は、柳沼さんのご自宅の目の前、広い敷地、山林に囲まれた傾斜地にありました。

早速、ブルーベリーを摘んで食べると、酸味がなく甘くておいしいブルーベリーでした。無農薬という事で摘んですぐ口の中へ、とても贅沢な食べ方、とても幸せな気分を味わいました。

震災後は放射能汚染に脅かされ続け、今なお必死の除染と侵入防止対策。20年かけて育ててきた樹木も半分に減らし、ブルーベリー畠の光景も変わった。今も戦いは終わってないという事を知りました。

柳沼孝政さんとお母さん、とても素敵なお笑顔で私達を迎えて下さり、本当にありがとうございました。

(あいコープふくしま
安川)



「ネオニコチナイト系農薬」の使用を
先進国で許可しているのは、日本だけ

“甘いブルーベリー”を
見極める修業不足

生産者の柳沼さんからのお話を聞けば、震災後放射能汚染で木を半分ほど切り落とした事、今年は春先にイリシの被害で木が倒れてしまつたという事で、今回はお持ち帰りには無理となりました。

しかし畠の無料開放で、参加した方には収穫体験を楽しんでいただきました。終わってからは「ハスちゃんヨーグルト」とのコラボで、ちぶとしたお土産をみんなで頂き、とても満足のいく交流だったと思います。

私も必死に甘いブルーベリーを探しましたが、“これだ!!”と思うものはすっくと、それはそれでおいしかったですが、まだ見極める修業が足りないねーと反省しました。

畠にはトンボが多くいたのが印象的でした。柳沼さんのお話を聞けば、「ネオニコチナイト系農薬」不使用で安心できる畠だからなのでしょうと。自然の生き物がたくさんいたのは、安全安心の証取れなんだとうれしくなりました。

柳沼さんのブルーベリーの取扱いは今季終了しましたが、来年もまた交流できるよう、応援したいと思います。

(あいコープふくしま
センター長 佐藤)

柳沼さんの生ブルーベリー交流に初めて参加しました。
今年は5月に入ってから遅霜で花がダメになりましたが、例年より早かったのもあり収穫量が少ないとおっしゃっていました。
またイリシの被害にもあり、木が枯れてしまつたりと、天候や予期せぬ出来事で、果樹栽培に影響が出てしまう難しさを感じました。
柳沼さんは果樹栽培では排除が最も困難とされる殺虫剤「ネオニコチナイト系農薬」を使用していないせんが、雨が続いたり完熟が過ぎるとショウジョウバエが発生してしまうとの事で、虫にやられる前に早めに収穫してしまうと酸味が強くなるようです。柳沼さんのブルーベリーの甘さは、そのプロの見極めによって私達の家庭に届けてくれていたのだと、改めて感じました。

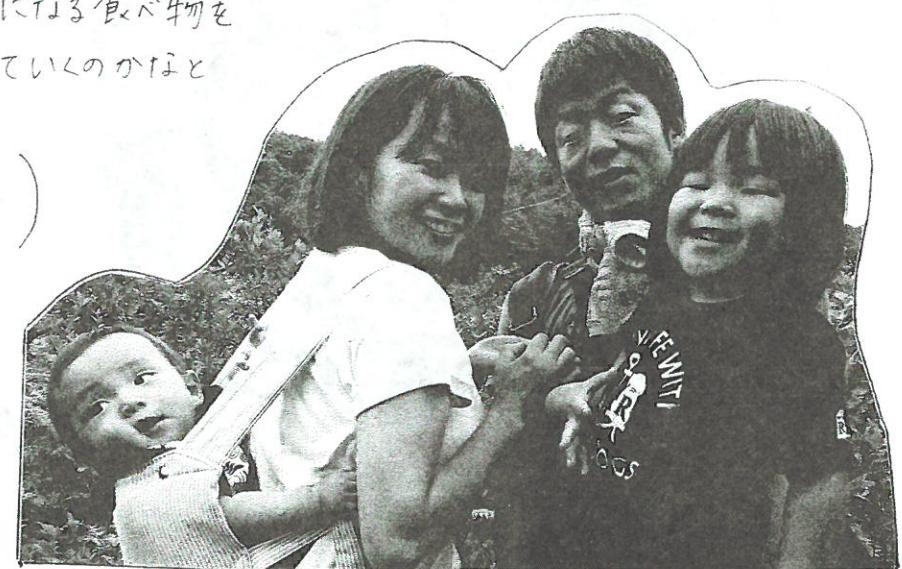
普段はなかなか参加できれない子ども達を連れて、ブルーベリーを摘んでその場で食べるという体験ができ、「おいしいね」「甘いね」が沢山聞かれました。ブルーベリーがどんな木で、どんな風に実がついているのか実際に見て、完熟の印も教えてもらい充実した交流会でした。自分で摘んでみて、一粒一粒の選別や手間もわかりました。

最後にGAPの取り組み、抗生物質や遺伝子組み換え食料で育った家畜の糞尿で作った肥料を畠に施肥することの影響を考え、予知できる危険はできるだけ取り除くこともお話し下さい、私たちもこうした取り組みを知り栽培方法にも関心を持つことで自分たちの命の源になる食べ物を選ぶ力にもつながっていくのかなど

思いました。

(郡山市)

濃い色のリンゴが
完熟の印!



年度を切る帰還は事故を無かった事にする

本宮市の仮設住宅にいます。私は仮設を『大邱住宅』と呼んで、ようこそと皆様をお迎えしています。そこで生きながらえていきます。

原発事故から5年の歳月がたちました。避難住民に何か変化があるのか、その答えは“へい！”です。今も思い出すのは、2011年3月12日朝々と避難して、底冷えのする体育館で、冷たいおにぎり2ヶ、冷たい水そして2枚の毛布、乾パン2枚の生活でした。

このような事は、地震国に54基の原発がある日本のどこにでも起きることです。こんな避難の苦しみ、惨めで悔しい体験は、誰にもさせたくない。しかしその願いや祈りだけは何も変わりません。

今、福島は復興の大合唱です。市町村は、除染して『帰郷、帰村』させることに血眼をあげています。除染物の黒い袋はどこにでも溢れて過去の自然の姿と思い出を変容させてしまった。こうした自然破壊の進行は、その第1が原発建設で、第2が事故による放射能汚染、第3は放射性物質の黒袋の山です。まさに自然破壊の極みです。すべて国の責任です。

県や町の心ある行政人は苦しみが深いと思っています。住民も様々な意見がありますが「帰りたい！」「早く帰せ！」が優先しきっています。いくら除染しても元の数値に戻りません。国は自然界にも放射能があるから大丈夫と嘘うそをしています。原発放射能とは異なる理解が大切です。現在の、年度を切っての帰還は結局のところ事故はなかったことにして「形づくり」が目に見えています。

現在の除染は、家の外側部分のみです。私の家はネズミの巣と、地震で倒れた物、家財が飛散しています。エネルギー（体）のない私たち高齢者はそのまま放置しておくしかできません。「東電に頼む」とは心が許しません。むしろこうした「故郷、自宅」に帰れという国への怒りが限りなく大きくなっています。

ましてや、未来に「負の遺産」を残すことの痛みはつゆほども感じられます。最終的には、先の戦争と同じように私たちを捨てるでしょう。すなわち二度目の『棄民』です。

でも私たちは生きなければならず、怒りとともに、元気に二人連れて…ともに闇い続けたいと考えます。

(浪江町 強制避難中
橋さんのお話)



～交流が人の心を変える力に～・～・～・～

高橋徳治商店の社長さん、地元ローカル生産者さんのお話、思いを聞けて良かったです。

組合員がその思いをしっかり受け止めていかなければと思いました。人数が増えてフレッシュな力が広がったとの副理事長のお話、それが続く事を願います。良い物を作て下さる生産者さんがいなければ、食べたいと思う仲間がいなければ続かないといでの、若い小さな子供さんのいる方がたくさん加入され、あいコープふくしまの力によって欲しいと思います。

地区委員を抜け、そして家族もちろんから2人暮らしになってしまった我が家ではなかなか力になれませんが、子育ての時期に楽しい生産者交流会に、3人の子ども、夫とともに参加させていただけた事は、とても良かったと鬼いいます。

子どもを連れて歩ける時期は小学校まで。ぜひツアーナーに参加してあいコープ生活を楽しんで欲しいです。

新しい組合員さんのお話を聞いて、交流会が広がる事が組合員の力をつけるだと感じました。人の心（価値感）を変えることができる事を知りました。

(須賀川市)

ドキドキの参加。足がガクガクの発言



あの苦しい日、心の再生する場

初めての総代会で、ドキドキしながらの参加でした。そして、すごい緊張の中、発言ということで、足がガクガクしながら、あいコープさんとの出会いから話させていただきました。自分は緊張しきてあまり覚えていません。

他の組合員さんの話を聞いて…

浪江から来られた橋さんと席が隣で、とても明るくお話ししていましたが、発表された文面から、大変苦労されてくやしい思いをされている事を知り、涙しました。

他の組合員さんもそうでしたが、色々な困難に向かっているのにそれを感じさせない明るさ、そして前向きさを、皆さん共通に感いる所です。

生産者の方と同じく、そして理事長さんをはじめとする役員さんたちからも、元気が伝わってくる総代会でした。

改めてあいコープと出会えたこと、良かったなと思いました。

(伊達市)

総代のみなさん、そして発言された組合員さんのあいコープへの熱い思いと深い愛を感じた総代会でした。

震災も原発事故も風化は許せない。でも一人じゃどこにも進めない。そんな時、辛さや苦しさにそっと寄り添い、心の再生する場を作ってくれたあいコープがありました。私の大切な人たちが、心身共に健強やかに未来を生きるために必要なものは何なのか悩んだ日、未来に「正の財産」をつなごうと農薬・添加物・放射能など様々な環境問題に真摯に向き合い、かわいいじきを求め眞面目にモジブリに励む生産者さんとの出会いがありました。そこにはまた福島の現状を心から気にかけて下さる宮城や栃木など県外の様々な生協ともつながっていました。

これから食べ物を買うことは生産者を守ること、大切な人たちの食と健康と環境の未来を守ること。未来を生きる私の大切な人たちが大人によつても、おじいちゃんおばあちゃんによつても、あいコープがずっとそばで“生きる姿勢”を示し、そして生活の支えになってくれるように”これからも組合員さんと生産者さんが手と手を取り合い、その輪が“少しずつ広がってくれたら…”と温かみ心に溢れた総代会でした。この生協を生み出し、ここまで育て下さった皆様、30年間ありがとうございました。

(福島市)

6/10 安達、議案交流会

男女共生センターでのランチ会、とても楽しかったです。トライカレーあまりにも簡単でびっくりしました。あいコープさんのお肉は本当に美味しいです。娘は牛乳をあまり飲まないので「でも、あいコープさんの牛乳はごくごくと喜んで飲んでくれたことがうれしかったです。組合員さんともお話をできたのもすごく良かったです。もう少ししゃべりましたからね…」託児があるのでゆっくりと食事できたのも満足でした。また二本松のみなさんとランチ会をやってみたいですね。また楽しい時間を一年前に過ごしたいです。

(二本松市)